

# 基準緩和認定実例(実証)

## ○全体概要

実証事業者	相鉄バス株式会社
実証期間	2020年9月14日～2020年10月29日
実証実験の概要	相鉄バスが自社で所有する自動運転バス(群馬大学より供給された自動運転システムを搭載)を横浜市イベント会場シャトル便として、遠隔監視・操作により運転席を無人にした大型自動運転バスの営業運行を日本で初めて成功させた。乗客やメディアからは弊社の試みに対し、好意的かつ高い評価のコメントを多数頂戴し、地域の関心度の高さと社会受容性の醸成に手ごたえを感じ、またシステムとインフラのありかたについて多数の課題を抽出することができた。

## ○実証の概要

走行場所	神奈川県横浜市旭区	
走行環境条件	走行空間	混在空間(私道であるが、一般の人・車ともに自由に行き来可能なため、みなし公道扱いとなる)
	交通環境	右折あり・左折あり・信号なし
	走行時間帯	10:00～13:00、14:00～16:00
	天候	晴れ
	実証時最高速度	20km/h
インフラとの連携の内容	なし	
車両内外の保安要員の有無	有り	
保安要員有りの場合、配置場所	運転者席の側方及び中扉付近に配置(計2名)	

### <走行空間の写真等>



## ○車両の基礎情報

ベース車両	日野 2SG-HL2ANBP (ブルーリボンハイブリッド)
システムの類型	遠隔システム搭載車
最高速度	105km/h
定員	77(27)人
立席・着席	立席50人、着席27人

### <車両の外観写真等>



○主な基準緩和項目と代替の安全確保策とその考え方

<p>保安基準                  第8条 原動機及び動力伝達装置                  第10条 操縦装置                  第11条 かじ取装置                  第20条 乗車装置                  第21条 運転者席                  第22条 座席                  第22条の3 座席ベルト                  第23条 通路                  第25条 乗降口                  第26条 非常口                  第44条 後写鏡等                  第46条 速度計等</p>	<p>車内には運転者がおらず、遠隔地に運転者席を設置していることから、以下の安全確保措置を講ずることにより、運転者に関わる保安基準等について保安基準の緩和認定を受けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔運転者席に音声ヘッドセット、カメラモニター、操作タッチパネル、ハンドル、フットペダルを備え、実際の車両運転者席と同様の操作が行うことができる</li> <li>・遠隔通信の遅延、システム異常、走行中に危険を感じた場合等に遠隔運転者席または車内の保安要員により緊急停止ボタンを押下することにより停止することができる</li> <li>・自動運転システムによる運行時は20km/h以下で走行する</li> </ul>
---	---

<緩和対象箇所の写真等>



○基準に適合させるために実施した改造事例

ベース車両が保安基準適合であるため特になし。

<改造箇所の写真>

○ヒヤリ・ハット事例(発生内容、原因、対策等)

なし。

<ヒヤリ・ハット状況の写真や図など>